

## 歯周組織の構造と病態

愛知学院大学歯学部  
病理学教授  
亀山洋一郎

現在、日本は長寿国になっているが、その長い人生を有意義に過ごすためには、自分の歯で食物を咀嚼し、食事を楽しみ、健康を増進することが大切である。口腔にはいろいろな病変が発生するが、その中でも中年以後に多発する歯周病は歯の喪失の大きな原因となっている。

歯周組織は歯肉、セメント質、歯根膜、歯槽骨からなる歯の支持組織である。歯周組織の機能は歯を正しい位置に保持して、その咀嚼機能を円滑に、かつ効果的に営ませることにある。今回の講演では、歯周組織の正常な構造、及び歯周組織に生じる種々の病変、すなわち歯肉炎、歯周炎、歯肉繊維腫症、若年性歯周炎、急性進行性歯周炎、慢性剥離歯肉炎、エプーリス、外傷性咬合、老化性変化、その他、などにおける病態について述べる。また、時間があれば臨床病理や実験病理についても述べたい。

### 〔略歴〕

- 昭和 38 年 3 月 東京医科歯科大学歯学部卒業
- 昭和 38 年 8 月 米国、アラバマ大学歯学部（歯周病学）  
インターン・レジデント（2年間）
- 昭和 44 年 3 月 東京医科歯科大学大学院歯学研究科（口腔病理学）修了、  
歯学博士
- 昭和 44 年 7 月 カナダ、マニトバ大学医学部助教授（解剖学）
- 昭和 49 年 7 月 カナダ、マニトバ大学医学部准教授（解剖学）
- 昭和 52 年 4 月 愛知学院大学歯学部助教授（病理学）
- 昭和 54 年 4 月 愛知学院大学歯学部教授（病理学）
- 平成 12 年 4 月 愛知学院大学歯学部長
- 平成 12 年 4 月 愛知学院大学大学院歯学研究科長

### 〔主な研究分野〕

口腔組織（粘膜、歯周組織、歯胚、唾液腺、顎関節、その他）に関する臨床病理学的研究、ならびに実験病理学的研究

### 〔学会活動〕

口腔病理学会、歯周病学会、顎関節学会、口腔腫瘍学会、口腔粘膜学会、口腔科学会、口腔外傷外科学会等の理事  
Oral Medicine and Pathology（口腔病理学会雑誌）編集長、顎関節学会雑誌編集長、Oral Oncology のレフリー  
International Association for Dental Research 会員、American Academy of Oral Pathology 会員